



国際化に向けたCIRの活躍 —— 宮城県経済商工観光部国際企画課

SNS を活用した情報発信

宮城県は、20年以上にわたり国際交流員（CIR）を任用しており、CIRは県の国際化に向けた取り組みを支える欠かせない存在となっております。現在、当課には、CIR 3人（Robert Duanmu, Nagi Cao, Serena Coid）、JETプログラムのOBである直接雇用CIRの計4人が在籍し、多岐にわたる業務に従事しています。



新規来日ALTに松島観欄亭の紹介をするCIR

CIR 3人に共通する主な業務は、県庁内の行政文書や各種パンフレットなどの翻訳業務、表敬等における通訳業務、SNS「Visit Miyagi」（フェイスブック・インスタグラム）での観光情報の発信、当課で運営している欧米向け観光情報サイトの執筆、宮城県国際化協会での多文化共生に関わる業務などです。特に、SNSによる情報発信は、CIRが企画し、実施に至った取り組みであり、外国人の視点を生かした発信が特徴です。そのため、記事内容は基本的にCIRに任されています。今ではフォロワーは6万人を超え、欧米豪からのインバウンド誘客に一役買っています。



Visit Miyagi フェイスブックページ

授業内容の向上にむけた取り組み

PA（JETプログラム県アドバイザー）業務を担当しているCIR 2人（Nagi, Serena）は、年2回のJET研修会の企画・運営や教育委員会と連携した学校訪問・授業研修の実施、県内JET参加者からの相談業務等も行っていきます。学校訪問は、県内を6地域に分け、日本人教員と外国語指導助手（ALT）と一緒に授業見学・検討会などを行います。小中学校教員とALTの橋渡し役としてCIRは貴重な存在で、チーム・ティーチングによる英語の授業力向上につながっています。



CIRが行う事業研修会の様子

グローバル経済の促進

外資系企業誘致を推進するための業務を、CIR 1人（Robert）が担当しています。宮城県では、2017年に「みやぎ国際戦略プラン（第4期）」を策定し、グローバル経済の促進とみやぎの国際的知名度の確立による富県宮城の実現を目指して取り組んでいるところです。その取り組みの1つとして、外資系企業の県内進出に向けて、JETRO および在日大使館との連携による企業訪問など国内外での積極的な誘致活動を展開し、東北大学や研究開発拠点を有する地域資源を強みに、投資環境セミナーや企業招へいなどのプロモーションを実施しています。その際に、本県CIRは、英語での資料作成、メールでの海外企業とのやりとり、誘致活動へのアテンド、通訳などにおいて大いに活躍しています。誘致企業に対する県

の補助金制度や立地条件などは、専門用語が多く内容もたいへん複雑ですが、よく勉強し自分の言葉で説明できるまで理解しています。今では、県内・海外企業についての知識もかなり深まりました。関係する課との連携にも加わり、外資系企業による県内投資の促進にたいへん貢献しています。その甲斐あって、ナノテク分野では国内初となる、「宮城県と日欧産業協力センターとの覚書」を結ぶことができました。この覚書に基づく日-EU ナノテクビジネスマッチング商談会の開催等においても EU 企業への案内やマッチングに向けた資料の作成を通して担当者の助けとなっています。



シンガポールでのイベントで宮城県の魅力を紹介

今後の活躍

CIR は、非常に高い能力を有しているため、宮城県の観光地や特産品等を海外の多くの方々知ってもらうプ

ローション活動をはじめとして、県政に関わるさまざまな場面でその能力を存分に発揮することを期待しているとともに、CIR としての経験が彼らの人間的な成長につながっていけばと願っております。



企業誘致活動へのアテンドの様子（写真左手前が CIR）